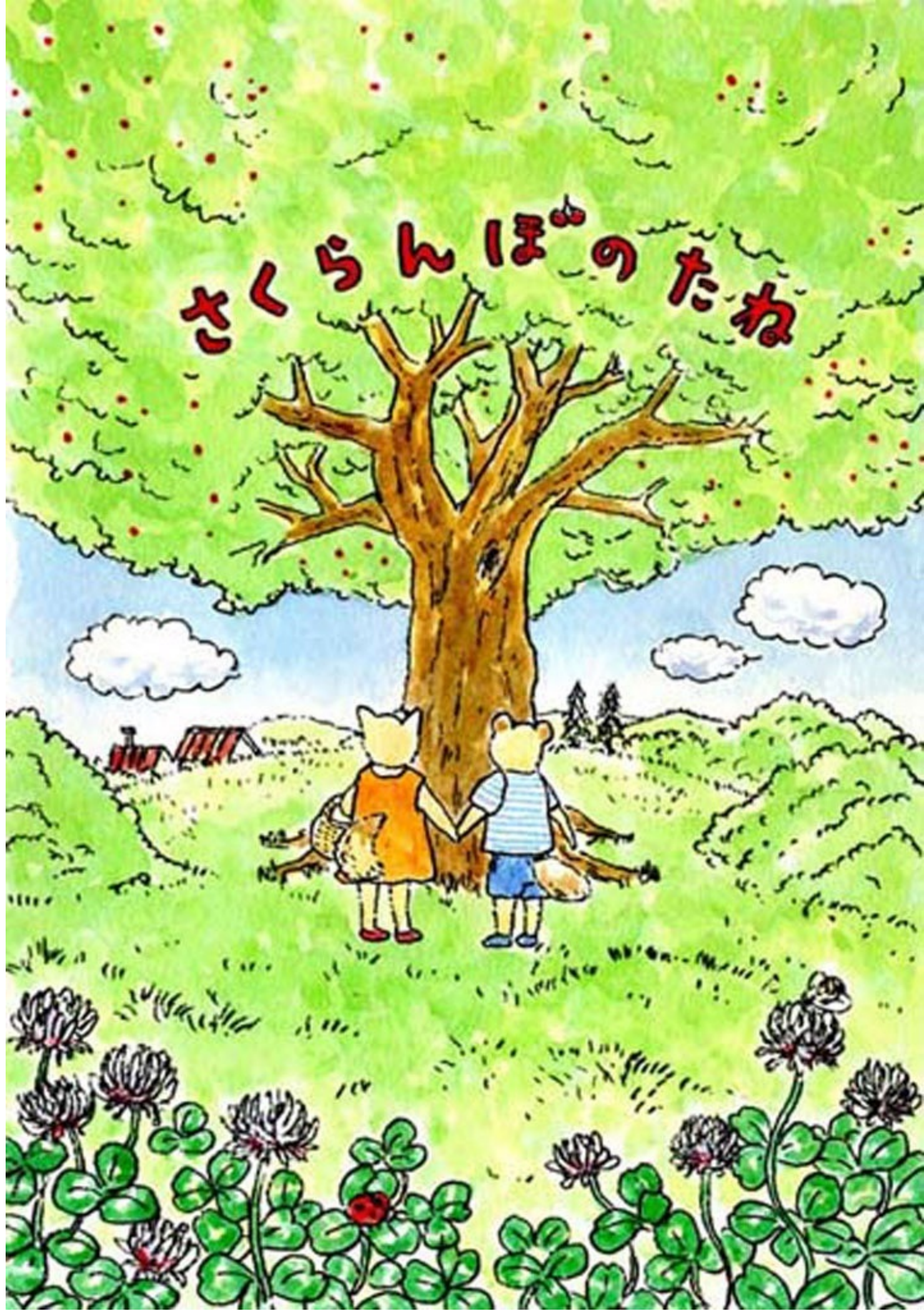
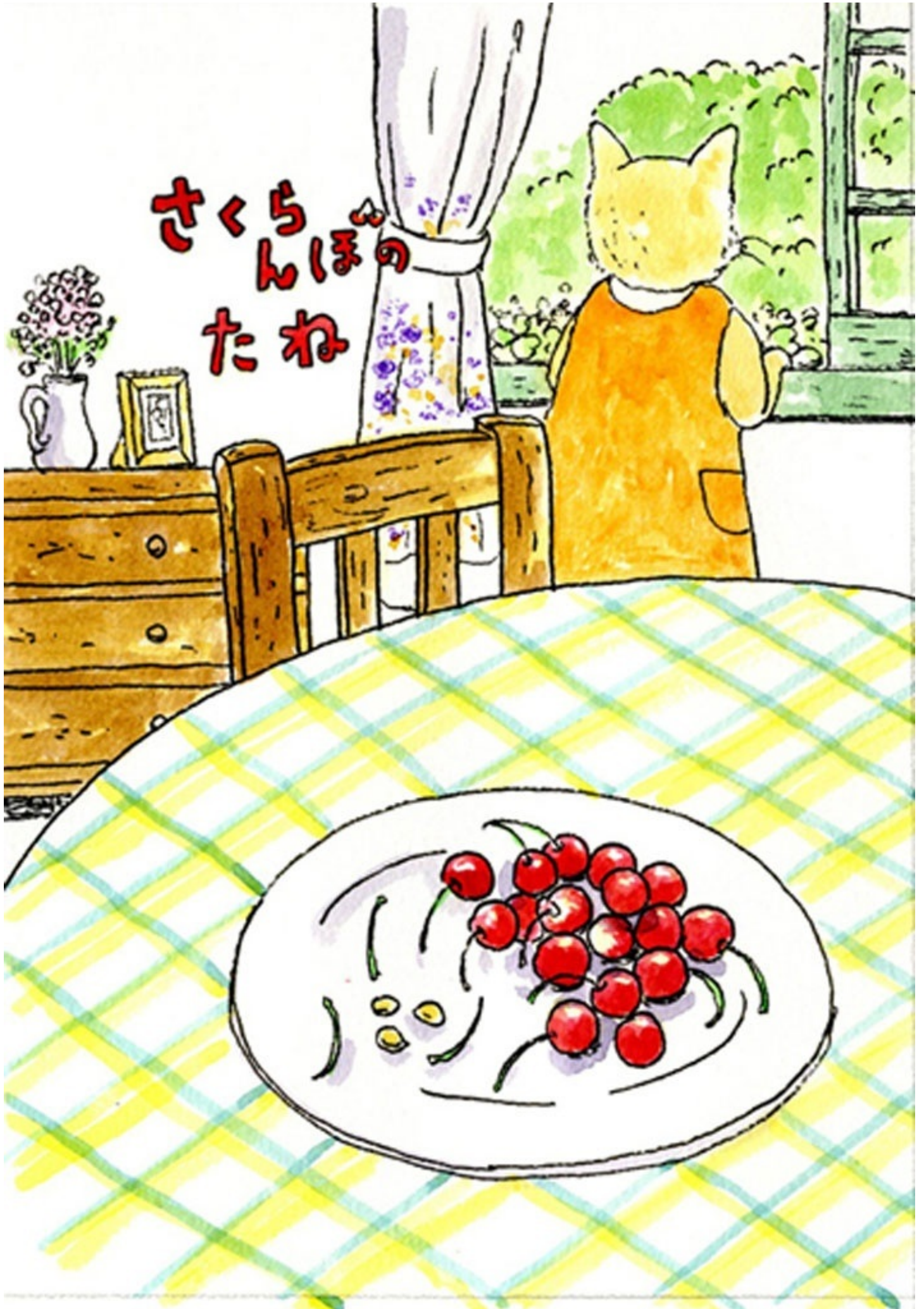


さくらんぼのたね



さくらんぼの  
たね



おにわで なわとびを していた  
コンちゃんとボンちゃんに  
「おやつのはんぶんですよ てを あらっていらっしやい」  
と こんちゃんの おかあさんが いいました  
「はあ〜い きょうのおやつは なにかなあ」







「おねえちゃんが とってきてくれた さくらんぼよ。  
みんなでいただきますよ」  
「いただきます」  
あまずっぱい さくらんぼを バクバクと たべました。

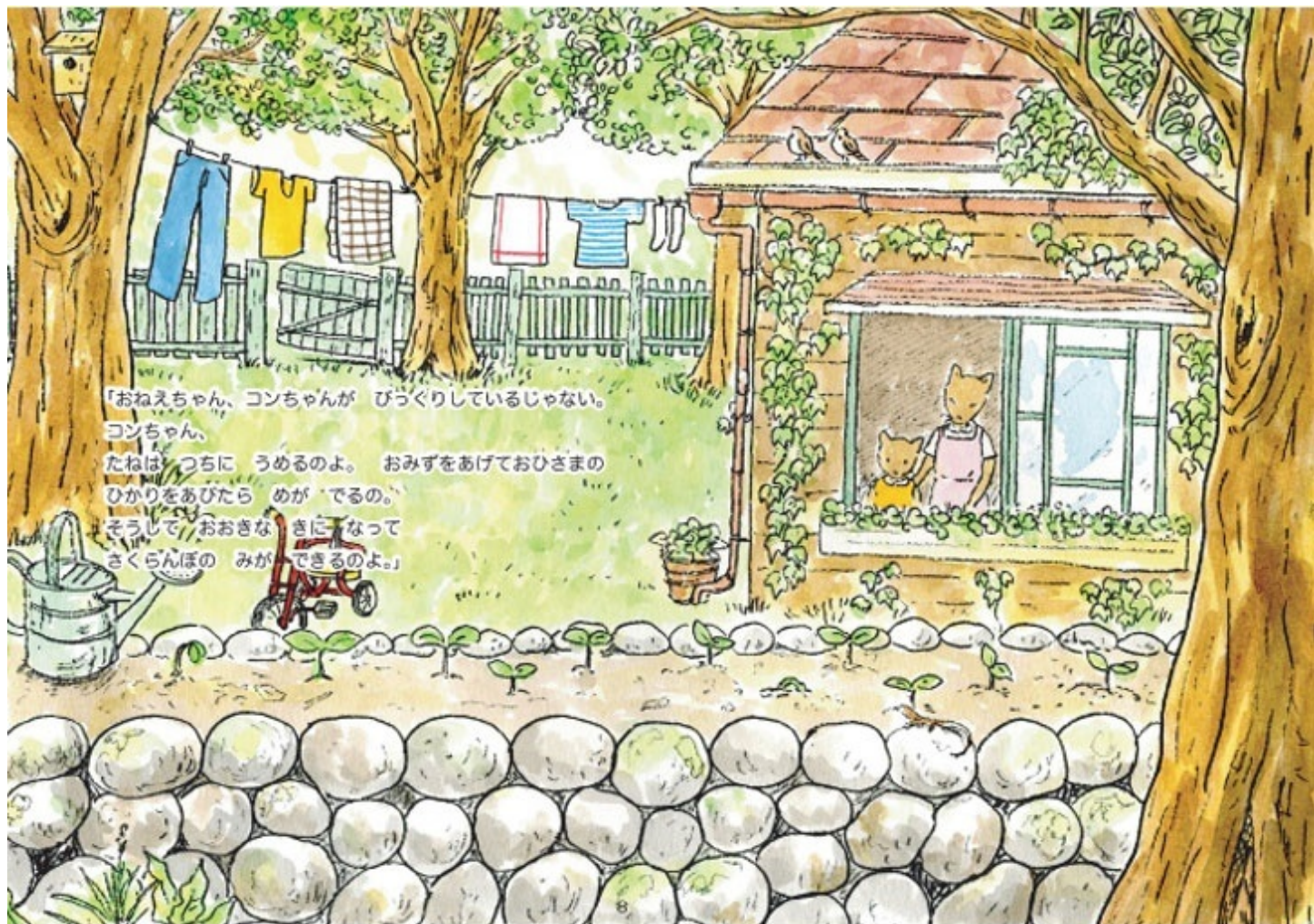




コンちゃんは びっくりして おへそをおさえて  
たねを だしました。

「あれ？コンちゃん たねを ださくちゃ だめよ」  
と おねえちゃん。  
「どうして？」と コンちゃんは ききました。  
「たねから めがでて きになって さくらんぼが  
できるのよ。コンちゃんの おへそから めがでたら  
どうするの？」





「おねえちゃん、コンちゃんが びろぐりしているじゃない。  
コンちゃん、  
たねは つちに うめるのよ。 おみずをあげておひさまの  
ひかりをあびたら めが できるの。  
そうして、おおきな きに なって  
さくらんぼの みが できるのよ。」



コンちゃんと ポンちゃんは たねを みつめました。

「ポンちゃん いっしょに さくらんぼのたね うめようか」  
「いいよ コンちゃん」





コンちゃんは スコップと ジョウロを もってきました



ぼんちゃんは それを みて、  
「ぼくも おうちへ いって スコップ もってくるよ」  
「わかった じゃあ まってるから はやくしてね」  
と コンちゃんは いいました。





コンちゃんは なわとびを して まちました。  
「1 2 3 4・・・」 「ポンちゃんおそいなあ」



「1 2・・・」  
「もう！ポンちゃんったらどうして こないのかな」

コンちゃんは いっしょに たねを うめる  
やくそくだったのに  
ひとりで うめて しまいました。



そこへ ポンちゃんが やってきました。  
「スコップが みつからなくて さがしてたんだ」  
「おそいから うめちゃったわ」  
コンちゃんは すまして いいました。





すると おこった ポンちゃん  
「コンちゃんなんか せっこうだ！」  
そういつて かえって しまいました。



コンちゃんは (そんなに おこらなくても いいのに)  
とおもいながら ひとりで たねに みずを あげました。



ひとりで みずやりをしても たのしくなくて  
そのうち なみだが でてきました。



コンちゃんは かごをもって さくらんぼの きまで  
いってみました。 かごいっぱい さくらんぼを  
とって ポンちゃんに たねを あげるために  
ぜんぶ ひとりで たべました。

そんなころ ひとで なわとびを していた ポンちゃん  
コンちゃんが いないと つまらない。  
ポンちゃんは コンちゃんが おそとで あそんでいないか  
みに きました。





ポンちゃんが かえろうとすると  
コンちゃんが できて いました。  
「ポンちゃん あした いっしょに さくらんぼのたね  
うめようか」  
ポンちゃんは にっこりわらって  
「いいよ」と いました。



